

世田谷区立二子玉川小学校 講演会 レジメ
『成功したいなら「失敗力」を育てなさい～AI時代を生き抜くために必要な力とは～』

2018.06.22

① 子ども達はどんな未来を生きることになるんだろう？

④ AI時代を生き抜く力を育てるための親の関わり方

② AI時代を生き抜くために必要な力ってなんだろう

～できるようになったこと 成長を感じたこと～

- ・
- ・
- ・

③ 日本の教育も変化！？

質問カワーク



お子さんにどんな未来を望みますか？

今はまだ目の前の成長のひとつひとつや勉強や受験に追われているかもしれませんが、未来に思いを馳せてみて下さい。子どもたちが成長して大人になるころ、AIの進化で約50%が今はない職業になっている可能性が高いと言われていの中で、ひとりひとりが自分の強みを発揮して、たくましく幸せに生き抜いてほしいと思いませんか？ 今後さらに急速に変化する社会の中で、よりよい未来をつくる人材に育ててほしい。そんな望みをかなえるためには、自分で自分の未来を探究する力が必要です。そんな力を持った子どもを育てるためには、親自身が、よりよい未来をイメージし、デザインする力を磨かなければ！ 子育ては、人材育成のプロジェクトです。だから、【母×デザイン力=子どもの未来】溢れる情報に翻弄されて不安になりがちなお母さんが、最新の知見や子育て経験者の知恵から学ぶことで、視野を広げて自信を持つ。そして、自分らしい子育てをデザインする力が育つ。新しい発見と成長の場、それがMother Quest です。

MotherQuest

マザークエストとは

私達は、子育てを「未来を創る人材の育成」だと考えています。

そんな価値ある仕事をしている親たちを応援し、発見と成長の場を提供するプラットフォーム、それがマザークエストです。

探究によるお母さんの成長

マザークエストの一員になって、いっしょに探究の旅に出かけましょう。

HOP

マザークエストメンバーになるマザークエストでは、あなたの子育てをハッピーにする、6つの栄養素を提案しています。

STEP

公開授業や実践講座に参加 専門家の知見や子育て経験者の知恵から学び視野を広げ、確かな軸を作っていきます。

子育てや教育への不安 思うようにはならない子育てや、あふれる情報に振り回されて不安になっていませんか？



不安

気づき

Jump!

探究

クエストマザーとは：自分自身が学び成長し続けるお母さん。より良い未来を創るキーパーソンです。

JUMP

同じ志を持つ仲間とつながる 6つの栄養素を手に入れ、仲間とつながり、クエストマザーとして活躍！

自信

クエストマザーとして、人材育成のプロジェクトに取り組みます。



あなたもマザークエストメンバーになりませんか？

メンバーの方には毎月2回メールマガジン「マザクエ通信」を配信いたします。

「マザクエ通信」では代表中曽根陽子のコラム、スタッフ通信のほか、セミナーなどのプログラムを一定早く告知いたします。また、メンバー限定の特典や情報も配信いたします。登録は無料です。

登録はこちらから



マザークエスト代表 中曽根陽子

小学館を出産のため退職後、1994年、子育て中のママたちが子どもと一緒にあそび場をチェックし紹介する『子どもとでかける大阪あそび場ガイド』（メイツ出版）を作成。今なお改定版を重ねるロングセラーとなりシリーズ累計50万部超。その後のあそび場ガイドシリーズ全国展開の先駆けとなる。女性のネットワークを活かした編集・取材活動を行う、情報発信ネットワーク「ワイワイネット」を発足。以後「お母さんと子どもたちの笑顔のために」をコンセプトに、数多くの書籍をプロデュース。現在は教育ジャーナリストとして、教育雑誌から経済誌、日経 Biz アカデミー、学研キッズネット、ビジネスジャーナルなど紙媒体からWEB連載まで幅広く執筆する傍ら、海外の教育視察も行き、偏差値主義の教育からクリエイティブな力を育てる探求型の学びへのシフトを提唱。2014年より、慶応義塾大学大学院システムデザインマネジメント科ヒューマンラボ研究員。親子の幸福度の相関などをテーマに研究活動も行っている。2女の母。

近著に『一歩先行く中学受験 成功したいなら「失敗力」を育てなさい』（晶文社）『子どもを伸ばす眠りの力』（wave出版）『ママが子どもを地震から守るための本』（メイツ出版）『後悔しない中学受験 最新版』（晶文社）、『おかあさんのための はじめての中学受験必勝ガイド』（メイツ出版）『子どもがバケる学校を探せ！ 中学校選びの新基準』（ダイヤモンド社）など多数



今年度の研修教育委員会では、「育もう生きる力と強い心」を年間テーマに掲げています。
6月22日（金）には、マザークエスト代表 中曾根陽子先生をお招きし、【失敗してもくじけない子供に育てる「失敗力」の育て方】について、ご講演いただきました。
子どもが失敗をした時、「Why?」—なんで！？と責めるのではなく、一呼吸して、「How?」
—じゃあ、どうしたらよかったと思う？今度はどうしようかと本人に考えさせることや、また子ども
の良いところを書き出すワークショップを通して、「今、親にできる事は何か？」を改めて考
え直すきっかけにもなった講演でした。
受講者の皆さんにとって有意義な時間になったとしたら幸いです。